
蜘蛛が恋して.....

南の二等星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蜘蛛が恋して……

【Nコード】

N8515D

【作者名】

南の二等星

【あらすじ】

人間の女に恋してしまった蜘蛛の結末とは……？

俺は蜘蛛だ。

八本の足をたくみに動かして、尻から糸を出してせっせと巣をこしらえるのに余念がない、

あの蜘蛛だ。

突然だが、俺は今虫の息だ。

体をベージュ色のふわふわの絨毯の上に投げ出して、八本の足を漏れなく全部天に向け、ヒ

クヒク痙攣している。

……我ながら情けない姿だ。

巢に引っ掛かった巨大な蛾を食おうとして、逆に食われかけた時ほど自分を情けなく思った

ことはなかった。だが、今はあの出来事を帳消しにできるほど自分が情けない……。

俺がその家にやって来たのは、住み慣れた隣家をハウキと怒声で

締め出されたからだけでは

なかった。

前に一度、手垢と埃で薄汚れた窓越しにこの家を覗き見た時、ちよつどこの部屋が見えたの

だ。おりしも、住人が部屋に入って来たところだった。

ブロンドのポニーテールを結った年頃のそれは、俺の溜まりきった欲情を再燃させるには申

し分ないほどに美しく、俺は自分の寢床から逆さまに落っこちるほどの衝撃を受けた。

粘り強い糸が俺の肢体を支えてくれなければ、俺は床に叩きつけられてペシャンコになって

いたか、鋭い眼光を煌々とさせて部屋を徘徊する毛むくじゃらにパクリとやられていただろ

う。

思い起こせば恐ろしいことだが、その時の俺に言わせれば、そんな不安はどこ吹く風だっ

た。俺はそれ程に、垣根一つ向こうのその女に身も心も奪われていたのだ。

故に、その数日後に行われた住人からの『厄介払い』は、俺にと

って絶好のチャンスとなっ

た。この家を出て、隣家のあの娘の部屋に引っ越すのにはちょうど都合が良い。

だが、長年愛用してきたこの巣を離れることは、足を一本、窓に挟んで裂かれてしまうよう

な、痛みと絶望感にも等しいものだといえた。

だが俺はついに吹っ切れた。

あの娘のそばにいられるのなら、巣の一つや二つ、足の一本や二本、リボンを結んでくれて

やる。

そうして俺は、あの娘の部屋に足を踏み入れたのだ。

俺の歓喜の雄叫びと女の甲高い悲鳴が重なったのは、それから束の間のことだった。

俺は娘がベッドの上に置いてある大きな枕を手取るのが分かった。それも、暴れ馬のよう

な荒い息遣いだ。

俺はさすがに身の危険を感じた……正直、油断していた。前の家主の優しい性格が（ただの

面倒くさがりかも知れないが）ここにきてあだとなった。俺の中の
“人間”という生き物への

警戒心が、長い時間の中で薄れてしまっていたらしい。そう考えれば、この俺が人間の女に恋

心を抱いてしまったことにも納得がいく。

娘に背を向けた直後、重く、柔らかい物が全身を強く圧迫するの
が分かった……。

俺が次に見たのは遥か遠くに見える天井だったが、実のところ、
自分の弱り切った姿を見て

いたに違いなかった。

体をベージュ色のふわふわの絨毯の上に投げ出して、八本の足を
漏れなく全部天に向け、ヒ

クヒク痙攣している。

……我ながら情けない姿だ。

（後書き）

最後まで読んでくださって、本当にありがとうございます！
この作品は、某掲示板で掲載したものをアレンジしたものです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8515d/>

蜘蛛が恋して.....

2011年1月15日16時13分発行